

ふくおと歩く 第93回の案内 第92回の報告

第93回 小さい秋をさがす観察会

2012年 9月22日 (土曜日)

観察場所・大阪市立大学附属植物園

集合場所・植物園入口

集合時間・午前10時

交通アクセス

京阪交野線私市駅下車

徒歩5分

入園料と車の方は駐車場料金が
必要です。



■上・クスノキの樹洞で寝む
たそうなニホンヤモリ
■右・ミンミンゼミ

都市近郊の自然林での観察会報告

猛暑の中、今回の目的はキバチに出会うこと。秋口に発生するというヒラアシキバチを見に、枚岡公園での観察会となりました。枚岡公園には立ち枯れたエノキが何本もあり、ヒラアシキバチはその材を食べて育ちます。そこからヒラアシキバチが、秋口発生するのです。一番目のエノキは、枚岡梅林からのハイキングコースを少し登ったところにあります。気が急くのですが、枚岡神社境内の日陰を選んで虫探しをしながら進みます。新鮮なムラサキシジミやカノコガの♀。エノキの葉裏にはテングチョウの蛹殻。ヤイトバナ(ヘクソカズラ)には、ヘクソカズラゲンバイ。その近くでは、クモがヨコバイの幼虫を捕食中。帰ってクモの名前を調べるとデーニツハエトリでした。キノコやセミの脱皮殻を見ながらハイキング道へ。木漏れ日の陽だまりに飛んできたのは、何とアカスジキンカメムシです。フジやキフジやスギなどの実で幼虫を見ることができる。綺麗なカメムシです。

春に大発生していたマイマイガの羽化した後の繭や蛹、キノコを見ながら目的のエノキまでやってきました。見ると、体より長い産卵管を持つオオホシオナガバチと、それよりも大きな体のオナガバチの1種が立ち枯れたエノキの周りを飛び回り、その長い産卵管をエノキに突き刺しているものも見られます。このオナガバチの仲間は何と、今回目的のヒラアシキバチの幼虫を食べるのです。成虫の間で食う食われるの関係ではなく、オナガバチの幼虫がヒラアシキバチの幼虫を食べるのです。樹の周りを飛んでいるものや近くの樹の枝や葉にとまっているものを捕獲して調べて見ましたが、ヒラアシキバチは観察できませんでした。どうやら、成虫の発生は未だのようです。

それにしても暑い、昼食後は山登りをせず、涼しい林の中のハイキングコースを進み、ベッコウクモバチが飛び交うところに行き着きました。ベッコウクモバチたちはU字溝や落ち葉の積もった地上付近を飛び、時々地上に降りて歩き回ってクモを探しています。ベッコウクモバチは、クモを狩り麻酔させた獲物を土中に作った巣に運び、幼虫に食べさせるのです。偶然、コアシダカグモ(?)を運んできたベッコウクモバチを別のベッコウクモバチが獲物を横取りしようとしている様子を観察できました。その後、どちらが勝利したかは不明ですが、無事に巣に運び込んだところを西口さんが観察していました。ニイニイゼミ、アブラゼミ、ツクツクボウシ、ミンミンゼミの鳴き声聞きながら暑い夏の観察会でしたが、色んなハチが見られた楽しい観察会でした。そんな、興味深いハチの展示会が大阪市立自然史博物館で「のぞいてみよう ハチの世界」と題して10月14日まで開催されています。興味のある方は一度覗いて見て下さい。



■カノコガ♀



■新鮮なムラサキシジミ



■ヨコバイを捕食するデーニツハエトリ



■アカスジキンカメムシ



■ヤマトシリアゲ♀



■トホシテントウ



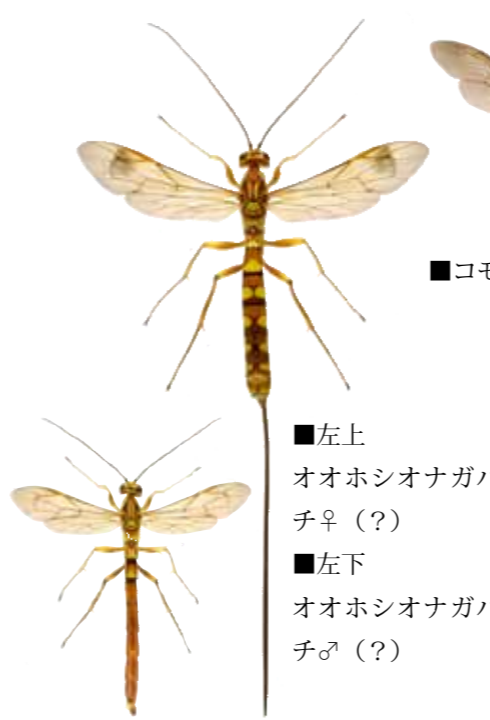
■コアシダカグモを狩るベッコウクモバチ



■獲物の争奪戦



■ハラビロカマキリ幼虫 セミでも狙っているのだろうか?



■左上
オオホシオナガバチ♀(?)

■左下
オオホシオナガバチ♂(?)



■コモンツチバチ



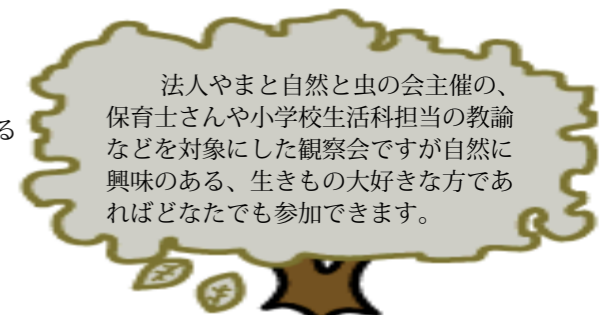
■ヤマトアシナガバチ



■キンモウアナバチ
クダマキモドキなどを狩る

発行・やまと自然と虫の会

奈良県北葛城郡上牧町片岡台3丁目 1-25-101 〒639-0201
TEL 0745-51-7626 FAX 0745-51-7627
e-mail 290no64ya@kxa.biglobe.ne.jp



法人やまと自然と虫の会主催の、保育士さんや小学校生活科担当の教諭などを対象にした観察会ですが自然に興味のある、生きもの大好きな方であればどなたでも参加できます。